

# 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月12日

上場会社名 健康ホールディングス株式会社  
 コード番号 2928 URL <http://www.kenkou-hd.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 札

(氏名) 瀬戸 健  
 (氏名) 香西 哲雄

TEL 03-5337-1337

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	6,702	25.7	601	895.1	573	—	339	—
21年3月期第3四半期	5,332	—	60	—	19	—	△44	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	1,109.03	1,108.43
21年3月期第3四半期	△149.53	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年3月期第3四半期	6,241	—	751	—	12.0	2,452.29
21年3月期	5,865	—	423	—	7.2	1,383.64

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 751百万円 21年3月期 423百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	50.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	47.26 ～71.57	97.26 ～121.57

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,002	14.4	702	94.9	670	112.6	360	152.1	1,175.32

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(2)をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(3)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 306,400株 21年3月期 305,800株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 一株 21年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 306,266株 21年3月期第3四半期 300,870株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

・定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

### (1)業績

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年来の世界的な金融危機・経済危機による景気後退から一定期間が経過し、徐々に経済は持ち直してきているものの、企業収益や雇用・所得環境については、一部を除き未だ厳しい中で推移しております。

このような環境の中において、当社グループの主力事業である美容・健康関連事業での景気悪化の余波は比較的少なく、特に美容関連分野においては、女性用美容家電等を中心に、堅調に推移しております。

こうした経営環境のもと、当社グループは、「美容・健康関連事業」と「食品関連事業」を主力事業に据え、この主力事業を支えるグループ各社が、事業強化に向けた販路拡大、新商品開発、相乗効果追求等に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高6,702百万円（前年同四半期連結累計期間は5,332百万円）、営業利益601百万円（前年同四半期連結累計期間は60百万円）、経常利益573百万円（前年同四半期連結累計期間は19百万円）、四半期純利益は339百万円（前年同四半期連結累計期間は△44百万円）となりました。

### (2)セグメント情報

#### ①美容・健康関連事業

美容・健康関連事業は、大きく分けて「健康食品分野」と「美容関連分野」になります。

健康食品分野は、健康コーポレーション株式会社を中心に、事業を行っております。この分野においては、健康志向の高まりや、肥満・生活習慣病等の増加を背景に、近年市場が拡大しております。

この分野の主力製品である「カロリーコントロール用健康食品」は、平成19年第1四半期以降続いていた売上高の落ち込みに歯止めがかかったこと、効率の良い広告媒体に絞り込みができたことで、安定的な利益を確保できるようになっております。

美容関連分野は、株式会社ジャパングャルズと健康コーポレーション株式会社を中心に、事業を行っております。この分野においては、美容・健康に対する消費者意識の高まりや、ホームエステに対するニーズの高まりにより、確実に市場は拡大しております。

株式会社ジャパングャルズにおける既存販路の拡大に加え、健康食品分野で培ったWEBプロモーション等の販売ノウハウを活かす施策が功を奏し、売上高と利益を伸ばしております。

この結果、美容・健康関連事業での売上高は4,936百万円（前年同四半期連結累計期間は3,431百万円）、営業利益は646百万円（前年同四半期連結累計期間は55百万円）となりました。

#### ②食品関連事業

食品関連事業は、乳製品の受託加工及び製造販売事業を主たる事業とする、株式会社弘乳舎を中心に、行っております。主力となる余乳受託加工は、一年という期間で見た場合、每期安定した売上高と利益を出しておりますが、季節的要因により、売上高と利益が第1四半期及び第4四半期に偏重する傾向にあります。しかしながら、当第3四半期連結累計期間においては前年第1四半期の特殊要因による大幅な売上高及び営業利益はなかったものの、当第3四半期において余乳受託加工が前年を上回り、またバター・脱脂粉乳の自社販売にも注力しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,771百万円（前年同四半期連結累計期間は

1,901百万円)、営業利益は117百万円(前年同四半期連結累計期間は221百万円)となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### 資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて10.7%増加し、3,739百万円となりました。主な要因としては、現金及び預金が773百万円、受取手形及び売掛金が297百万円それぞれ増加し、未収還付法人税等が584百万円減少したためです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.6%増加し、2,502百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて6.4%増加し、6,241百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.4%減少し、3,142百万円となりました。主な要因としては、短期借入金の409百万円減少、支払手形及び買掛金の274百万円の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.2%増加し、2,348百万円となりました。これは主として、長期借入金の94百万円増加によるものであります。

この結果、総負債は、前連結会計年度末に比べて0.9%増加し、5,490百万円となりました。

#### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて77.6%増加し、751百万円となりました。これは主として、利益剰余金の324百万円増加によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月13日に公表いたしました通期業績予想に対する修正は行なっておりません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (一般債権の貸倒見積高の算定方法)

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### (棚卸資産の評価方法)

当第3四半期連結会計期間末の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

#### (固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### (法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じ、又は、一時差異等の発生状況について著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度決算にお

いて使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計処理の原則及び手続の変更

販売促進物の費用処理

従来、期末に保有している販売促進物は主として貯蔵品に計上しておりましたが、当第3四半期連結会計期間より購入時に費用計上し、販売費及び一般管理費に含めて処理する方法に変更しております。

この変更は、当第3四半期より、経営合理化の一環として販売促進物のより適切な在庫管理を推進していくことを目的に、発注方法の変更等の業務改善を実施したことに伴い、改めて当該販売促進物の性格を見直した結果、購入時に費用処理することにより、財政状態の健全化を図り、経営成績をより適切に表示するために行なったものであります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ35,704千円減少しております。

また、この変更後の方法を第2四半期連結累計期間に適用した場合には、当第2四半期の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ15,531千円減少いたします。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,611,467	837,619
受取手形及び売掛金	905,254	607,607
商品及び製品	659,890	716,061
仕掛品	10,511	13,818
原材料及び貯蔵品	236,213	335,446
未収還付法人税等	82,888	667,487
その他	239,797	205,762
貸倒引当金	△6,694	△5,345
流動資産合計	3,739,328	3,378,456
固定資産		
有形固定資産		
土地	907,724	907,724
その他(純額)	472,365	363,387
有形固定資産合計	1,380,089	1,271,111
無形固定資産		
のれん	880,167	973,512
その他	12,145	12,028
無形固定資産合計	892,312	985,541
投資その他の資産		
投資有価証券	23,330	24,356
投資不動産	157,123	157,123
その他	59,189	59,124
貸倒引当金	△9,426	△10,543
投資その他の資産合計	230,216	230,060
固定資産合計	2,502,618	2,486,713
資産合計	6,241,947	5,865,170
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	519,442	244,797
短期借入金	925,974	1,335,958
1年内返済予定の長期借入金	705,832	1,106,094
未払法人税等	159,448	65,416
賞与引当金	65,570	63,462
返品調整引当金	41,611	12,156
その他	724,611	360,441
流動負債合計	3,142,490	3,188,326

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
固定負債		
長期借入金	2,006,946	1,912,889
役員退職慰労引当金	16,510	23,311
退職給付引当金	269,044	282,894
その他	55,574	34,630
固定負債合計	2,348,074	2,253,725
負債合計	5,490,565	5,442,052
純資産の部		
株主資本		
資本金	112,232	111,272
資本剰余金	118,326	118,326
利益剰余金	516,278	191,940
株主資本合計	746,837	421,539
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	608	2,052
繰延ヘッジ損益	3,936	△473
評価・換算差額等合計	4,544	1,578
純資産合計	751,381	423,118
負債純資産合計	6,241,947	5,865,170

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	5,332,349	6,702,239
売上原価	2,822,717	3,144,839
売上総利益	2,509,631	3,557,400
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	1,036,205	1,498,411
その他	1,413,022	1,457,927
販売費及び一般管理費合計	2,449,228	2,956,339
営業利益	60,403	601,060
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,816	267
受取賃貸料	5,841	1,855
補助金収入	—	6,680
受取補償金	5,714	2,285
その他	10,187	10,492
営業外収益合計	23,558	21,582
営業外費用		
支払利息	57,916	47,959
貸与資産減価償却費	3,672	260
その他	2,375	1,166
営業外費用合計	63,964	49,387
経常利益	19,997	573,255
特別利益		
固定資産売却益	20,218	1,580
子会社株式売却益	38,795	—
その他	3,722	1,316
特別利益合計	62,736	2,897
特別損失		
投資有価証券売却損	2,124	—
投資有価証券評価損	18,196	—
固定資産除却損	9,471	218
子会社株式売却損	24,042	—
減損損失	—	1,449
その他	4,543	—
特別損失合計	58,378	1,667
税金等調整前四半期純利益	24,356	574,485
法人税、住民税及び事業税	113,183	224,796
法人税等調整額	△43,837	10,031
法人税等合計	69,345	234,828
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△44,989	339,657

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	24,356	574,485
減価償却費	90,422	71,963
のれん償却額	94,592	93,345
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,269	232
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,066	△6,801
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3,427	△13,850
固定資産売却損益 (△は益)	△20,218	△1,580
固定資産除却損	9,471	218
減損損失	—	1,449
子会社株式売却損益 (△は益)	△14,753	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	835	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	18,196	—
受取利息及び受取配当金	△1,816	△267
支払利息	57,916	47,959
為替差損益 (△は益)	—	△971
売上債権の増減額 (△は増加)	273,425	△297,647
たな卸資産の増減額 (△は増加)	240,190	159,790
仕入債務の増減額 (△は減少)	△122,688	274,645
その他	△90,034	360,631
小計	560,266	1,263,605
利息及び配当金の受取額	1,816	267
利息の支払額	△48,230	△47,895
法人税等の支払額	△867,884	△213,547
法人税等の還付額	10,151	672,783
営業活動によるキャッシュ・フロー	△343,881	1,675,213
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△87,920	△37,260
定期預金の払戻による収入	57,266	—
有形固定資産の取得による支出	△62,812	△150,721
有形固定資産の売却による収入	10,847	1,580
無形固定資産の取得による支出	—	△3,100
有価証券の取得による支出	—	△26,541
投資有価証券の売却による収入	54,871	—
投資不動産の売却による収入	36,928	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△27,154	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	159,652	—
貸付けによる支出	△90,193	—
貸付金の回収による収入	93,954	604
その他	16,839	45
投資活動によるキャッシュ・フロー	162,279	△215,391

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△648,308	△409,984
長期借入れによる収入	770,000	744,000
長期借入金の返済による支出	△908,826	△1,050,205
株式の発行による収入	5,952	960
社債の償還による支出	△50,000	—
配当金の支払額	—	△9,115
財務活動によるキャッシュ・フロー	△831,183	△724,345
現金及び現金同等物に係る換算差額		
	—	1,111
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,012,784	736,588
現金及び現金同等物の期首残高	1,620,111	788,311
現金及び現金同等物の四半期末残高	607,326	1,524,899

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

IT・広告関連事業を行っていた株式会社アクディアの全株式を譲渡したことにより、全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める健康関連事業の割合が、いずれも90%を超えるため、種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	美容・健康関連事業 (千円)	食品関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,936,034	1,766,205	6,702,239	—	6,702,239
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5,593	5,593	(5,593)	—
計	4,936,034	1,771,799	6,707,833	(5,593)	6,702,239
営業利益	646,824	117,435	764,259	(163,199)	601,060

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

## 2. 各区分の主な事業

(1) 美容・健康関連事業・・・美容関連用品、化粧品、健康食品等の販売

(2) 食品関連事業・・・乳製品等、菓子用原材料等の販売

## 3. 事業区分の変更

従来、事業区分は「健康関連事業」、「IT・広告関連事業」の2区分によっておりましたが、当連結会計年度より、「美容・健康関連事業」、「食品関連事業」の2区分に変更いたしました。

セグメント区分の変更の理由については、前連結会計年度に連結範囲の変更を伴う関係会社の異動があり見直したことにあります。これは、当社の事業展開に基づく事業区分の見直しであり、事業領域の拡大によってセグメント情報の有用性を高めることを目的としております。

## 4. 会計処理方法の変更

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、当第3四半期連結会計期間より、販売促進物は購入時に費用計上し、販売費及び一般管理費に含めて処理する方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の営業利益が、美容・健康関連事業において35,704千円減少しております。

## (参考)

前第3四半期連結累計期間を変更後の事業区分に基づき作成すると次の通りであります。

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	美容・健康関連事業 (千円)	食品関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,431,039	1,901,310	5,332,349	—	5,332,349
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,431,039	1,901,310	5,332,349	—	5,332,349
営業利益	55,630	221,481	277,111	(216,708)	60,403

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な事業

(1) 美容・健康関連事業・・・美容関連用品、化粧品、健康食品等の販売

(2) 食品関連事業・・・乳製品等、菓子用原材料等の販売

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

前第3四半期連結累計期間において、日本以外の国又は地域に所在する連結子会社はありませんので、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

当期当第3四半期連結累計期間において、日本以外の国又は地域に所在する連結子会社はありませんので、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## 【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

前第3四半期連結累計期間において、海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

当第3四半期連結累計期間において、海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。